

ハワイで広告やマーケティング、PRを手がける企業を自ら立ち上げて今年で35年を迎えた。敏腕女性経営者としての数々の実績が讃えられ、州知事より「リテール・マーチャント・オブ・ハワイ」の大賞を受賞するなど、地元の世界では知らない人がいないほどの名物経営者である。

「やればやるだけ自分の成長を実感



Profile

Masako Nashimoto-Luttrell

ナシモト&アソシエイツ社長。早稲田大学を卒業後PR業界へ。J・ウォルター・トンプソン社に転職し、27歳の若さで日本PR部門を設立、部長に就任する。退職後、 Guamでの生活を経て、1982年にハワイへ。PR・広告エージェンシー「ナシモト&アソシエイツ」を立ち上げる。地元経済紙「パシフィック・ビジネス・ニュース」による「ビジネス・ウーマン・オブ・ザ・イヤー」で15年連続してファイナリストにノミネートされるなど、その取り組みが各方面で高く評価される。「NPO ハワイシニアライフ協会」の発起人・副会長のほか、女性起業家の組織「梨本会」や音楽によって発達障害の子供を支援する「Sound of Joy Music Therapy」の委員を務めるなど、コミュニティー活動にも積極的に取り組む。

でき、成績が正当に評価される実力の世界。仕事が面白くて働きつめた結果、ある時、燃え尽き症候群になっ

てしまっ。療養を兼ねて Guam で休暇を過ごしている。運命の人物と出会うことになる。出会いから紆余曲折あった後、日本でのキャリアを捨ててまでして結婚を決意。その決断が後に梨本さんをハワイへ導くことになった。

「結婚後、Guamで2、3の顧客を持ちながら2人の子供をもうけ育てていきましたが、主人の仕事の都合で都市部へ引っ越す事となったのです。その候補の5つの都市の中にハワイもありましてね。当時、ホノルルの人口は80万人ぐらい。トンプソン時代に培ったマーケティングの手法では、そのくらいの規模の都市が新製品や

サービスのリサーチに最適だったんです。だから引越先はハワイのホノルルしかない」と。育児でしばらくビジネスの第一線から身を引き、しかも右も左も分からない新天地での起業。そのような状況にもかかわらず梨本さんの心に一切の不安や迷いはなかった。起業後さっそく獲得したクライアントから信頼を得て、さらに当時最大手の銀行のためのマーケティングリサーチの結果がクライアントの心を掴むことに。そして、その評価が瞬く間にファッション業界へも広まったのである。

「私の噂を聞いたのでしよう。シャネルがホノルルにワイキキ1号店を出店するにあたって、総支配人が私にすべてを委託するので面倒をみてくれとお願ひして来たのです。どんなことがあってもクライアントは王様。100%ではなく常に120%でという哲学を貫き、出店を成功させることができました。以来35年、シャネルとのお取引は今でも続いています」。

生き馬の目を抜くようなシビアな業界で第一線を走り続けてきた梨本さん。ただ、職業柄、クライアントの2、3ヶ月先の状況を考える習性が体に染み込み、常に不安が身に付いていた。そんな心の状態から梨本さんを救ったのが絵画だった。



ホノルルの中心部にあるオフィスには、梨本さんの活躍を讃える写真が壁一面に飾られている。



それがヒーリングになったのでしよう。水彩画を本格的に始めてからは皆さまから評価され、様々な賞もいただくようになりました。今では絵描きとして仕上げた作品を病院などに寄付したりもしています」。

今後はアーティストとしてホテルなどに飾る大規模な壁画にも挑戦していきたいと意気込む梨本さん。「アーティストとしてのネットワークが広がり、アートを介していい方向に向かっていると実感しています。また、私の描いた絵で皆さまが癒されるという副産物が付いてくる。こんな嬉しいことはありませんね。穏やかに微笑む敏腕女性経営者の優しい表情が印象的だった。



President, Nashimoto & Associates
Ms. Masako Nashimoto-Luttrell

梨本 昌子さん

敏腕女性経営者のもう一つの顔

Information

Nashimoto & Associates

1833 Kalakaua Avenue, Suite 201

Honolulu HI

TEL +1-808-955-9361

http://www.nashimoto.com